

# 計画策定の趣旨と役割

## (1) 計画策定の趣旨

本町では、昭和48年に「熊野町整備基本計画」を策定して以来、昭和55年には「文化の香り高い、田園住宅地」を目標とする「熊野町総合基本計画」を策定、昭和63年にはこれまでの目標を踏まえつつ「筆の里 21世紀計画」を策定し、「文化の香り高い、心豊かな田園都市」を将来像としてまちづくりを進めてきました。

この間、町民及び関係機関の深い理解と積極的な協力により、住民福祉をはじめ生活環境・交通基盤の整備や産業の振興等において一定の向上を図ることができました。しかしながら、時代は今、少子化に伴う人口減少や高齢化の進行、高度情報化社会の到来、経済の国際化、地方分権の進展等といった諸情勢の変化により、大きな変革期を迎えています。

本町では、昭和63年12月に「文化の香り高い、心豊かな田園都市」を将来像として策定した「筆の里 21世紀計画」が、平成12年度をもって終了します。本町では、こうした状況を踏まえ、町民の生活向上と町勢の発展を図り、新しい時代の中で大きく飛躍することをねらいとして、「第4次熊野町総合基本計画」を策定します。

## (2) 計画策定の役割

本計画は、地方自治法第2条第4項の規定に基づき、平成22年度（2010）までの長期展望に立って、熊野町における町勢進展の基本的方向を示すとともに、住民活動、企業活動、そして行政機関に関わる施策の方向を明らかにするものです。

# 計画の構成と期間

## (1) 基本構想

「基本構想」は、期間を平成13年度（2001）から平成22年度（2010）までの10年間として、時代の潮流を踏まえ、町勢発展に向けた基本目標とめざすべき町の姿を示します。さらに、基本目標を実現するにあたっての主体的なプロジェクトである戦略プロジェクトを明らかにします。

## (2) 基本計画

「基本計画」は、「基本構想」を具現化させるための必要な施策について、平成13年度（2001）から平成22年度（2010）までの10年間における具体的な事業内容を体系的に明らかにします。

年 度	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
基本構想	[Orange bar]									
基本計画	[Green bar]									